



所在地：石川県金沢市鞍月1丁目1番地
 延床面積：24,125㎡
 規模：地下1階、地上8階、塔屋1階
 構造：地上／鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
 地下／鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造
 設計：山下設計・石川県建築設計(協)設計共同企業体
 施工：建築／戸田・浅沼・豊蔵・宮地 特定建設工事共同企業体
 電気／電設工・柿本・東亜 特定建設工事共同企業体
 竣工：平成14年11月

目にやさしい快適な光環境を創り出しながら省エネ、安全性に配慮した警察庁舎の照明

最新技術を導入して新たな時代の要請に対応した警察本部庁舎

石川県警察本部庁舎は、最近の厳しい治安情勢に的確に対応するとともに、大規模災害等に迅速に対処し、県民の安全と安心を確保するため、3年余の歳月を経て平成14年11月に新庁舎が完成。

安全で快適な環境を実現する交通管制センター、事件事故の早期解決を図る通信指令室、大規模災害・突発重大事件発生時に指揮の一元化を行う総合指揮室など、新たな時代の要請に応えるため、最先端技術に基づいて整備されたシステムを最大限活用しながら県民のために安全な暮らしをサポートしています。

庁舎のエントランスホールは8階の最上階まで吹抜けとなっており、通風や自然光を積極的に採り入れ、明るく開放的な空間計画となっています。補助照明として、約40m高さの天井壁面に400Wメタルハライドランプ(3800K)特注ブラケット(1000H、500φ)を設置(手動ルーバ付)し、さわやかな光色による心地よい光空間が創り出されています。

人命救助や被害の拡大防止を図る総合指揮室などの執務室や会議室の照明は、視野内をすっきりさせるため32WHf蛍光灯1灯用OALルーバ付口の字器具を採用し、VDT表示面の映り込み防止や映像装置にも配慮。机上面平均照度600lxに設定し、あかりセンサによる初期照度補正制御と昼光利用適正照度制御で過剰な光出力を抑えて省エネが図られています。

先進技術のシステムが導入されている交通管制センターの照明は、6m高さの天井に42Wコンパクト形蛍光灯3灯用埋込器具(リングルーバ付)を3列に計19台設置(昇降装置付)。明るさは25~100%の調光(100%調光時の平均照度は600lx)を可能にして情報表示盤が的確に確認できるように配慮されています。

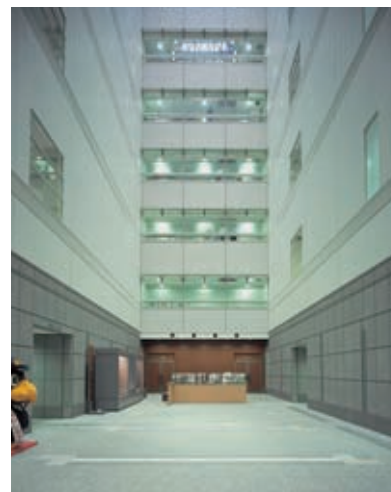
柔・剣道、逮捕術の訓練を行う武道場の照明は、55Wコンパクト形蛍光灯4灯用スクエア器具(バツフル付)を整列配置。道具が舞い上がった際の危険防止のため、全面天井ルーバとした構成としています。(平均照度300lx)

照明コンセプト

Lighting design concept
 ●「人にやさしい」(バリアフリーの徹底)、「環境にやさしい」(都市・地域・地球環境に配慮)、「災害に強い」(信頼性、安全性の向上)を基本に省エネの実現化



交通管制センターの照明：FHT42Wコンパクト形蛍光灯3灯用埋込器具(昇降装置付)を設置。連続調光を可能としている



エントランスホールライトコートの照明：吹抜け最上部に400Wメタルハライドランプ特注ブラケットを設置



ライトコートの特注ブラケット



交通管制センターの埋込器具



エントランスホール受付周りの照明



会議室の照明：32WHf蛍光灯1灯用(OALルーバ付)口の字器具を採用。照度分布にムラがなく、VDT表示面の映り込みも防止、あかりセンサを採用し省エネが図られている

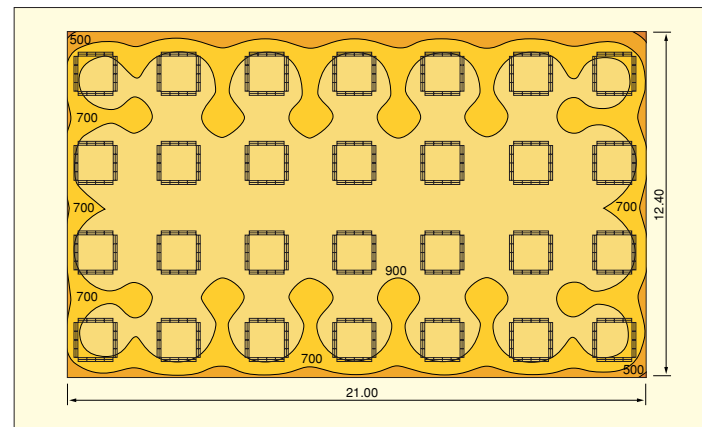


会議室や執務室に採用された32WHf蛍光灯1灯用4口の字器具



武道場の4灯用スクエア器具

●会議室の照度分布図(100%点灯時)



武道場の照明：55Wコンパクト形蛍光灯4灯用スクエア器具を整列配置

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
会議室、執務室	口の字器具	(FHF32X1)X4-PD	688	32WHf蛍光灯
交通管制センター他	ダウンライト	FHT42X3-DL	52	42Wコンパクト形蛍光灯X3
武道場	スクエア器具	FT-54730-PS	32	55Wコンパクト形蛍光灯X4
エントランス吹抜け	特注ブラケット	HT-4030X(K)	20	400Wメタルハライドランプ